

# 環境報告書

# 2012



報告書の対象範囲

対象期間 2011年4月1日～2012年3月31日

一部、対象期間以前、もしくは以後の活動内容やグループ会社の活動内容も含まれます。

# 目次

---

■ 目次	1
■ 社長環境メッセージ	2
■ 会社プロフィール	2
□ 会社概要	
■ 環境方針	3
■ 環境組織	3
■ 環境に配慮した製品の紹介	4
□ 製品の紹介	
□ ブース空調システム 省エネ温調制御の紹介	
■ 環境取り組み	
□ トリニティ全社の環境負荷低減活動	5
・ 地球温暖化防止	
・ 循環型社会への取り組み（廃棄物低減）	
□ 環境マネジメントシステム	6
・ 工場 ISO14001取得状況	
・ 全社安全衛生環境会議	
□ 環境コミュニケーション	6
・ 豊田市「環境の保全を推進する協定」	
・ 豊田工場 節電活動について	
・ 「トヨタ地球環境月間」への参画	
・ 豊田市「ライトダウン活動」への参画	
■ 地域活動	7
□ 地域懇談会	
・ 豊田工場 近隣地区役員との交流会	
・ 三好工場 愛知大学訪問、福谷区長訪問	
□ 環境美化活動	
・ 豊田工場花いっぱい活動	
・ 環境美化の実施	

## 社長環境メッセージ

昨年の大震災から一年が経ちましたが、日本は依然、復興の途上にあります。私達は製品と生産活動を通じて、環境・社会への貢献を継続すると共に、可能な限りの復興支援をすすめてまいります。

当社は、塗装設備及び自動車内外装部品の製造を担う企業として、地球温暖化、大気汚染、また、産業廃棄物などの環境問題を最重要課題の一つと捉え、平成11年に環境基本方針を策定し、『環境』を企業活動の柱のひとつとして、事業を進めております。

当社の環境改善への取り組みとしては、熱・水・空気の総合エンジニアリング企業として、省スペース、省エネルギーの塗装設備の開発に取り組んでおります。また、部品生産活動においては、工場動力源の省エネルギー化、新工法の採用などを推進し、少資源で環境にやさしい製品作りを推進しております。

本年度も、震災に伴う原子力発電所の稼働問題により、エネルギー需給は厳しい状況が続くものと思われまます。当社は、「全員参加のSE (Save Electric) 活動」をスローガンに節電活動を実践し、環境改善への取り組みが、企業や社会を発展させるものと確信し、活動を継続してまいります。

以上



代表取締役社長  
馬場 昭次

## 会社プロフィール

### □会社概要

創立	1946年10月2日
本社所在地	愛知県豊田市柿本町1-9
資本金	13億1,100万円
売上高	286億円（平成24年3月期実績/連結売上高）
社員数	836名
事業内容	「塗装プラント」「塗装機器」「産業用機械」の設計、製作、施工 「自動車部品」の製造
事業所	豊田工場 三好工場 東京支店 大阪支店 田原営業所 九州営業所

# 環境方針

## トリニティ工業株式会社 環境基本方針

1. 国、地方自治体などの環境法規等を遵守するとともに、自主管理基準の目標を定め、達成することで、環境保全の向上に努める。
2. 当社の保有技術を更に向上させ、環境に配慮した製品技術開発に努め、排出物・廃棄物の発生やエネルギー消費量の少ないモノづくりに継続的に取り組む。
3. 生産活動が環境に及ぼす影響を予測・評価し、一人ひとりの自覚と責任において生産工程の自主管理に努め、環境に配慮した取り組みを推進する。
4. より良い地球環境の実現をめざし、企業活動のみならず、良き企業市民として社会や地球に貢献する為、社内の力を結集し、環境保護にも積極的に取り組む。

【本社】



## トリニティ工業株式会社 豊田工場環境方針

当地において、自動車部品の製造ならびに塗装設備事業を行なうにあたり、従業員一人ひとりの自覚と責任において環境汚染を防止し、関係仕入先とも連携を取りながら、環境保全への継続的改善に取り組む。

1. 国・愛知県・豊田市との法令・条例・協定を遵守する。
2. 豊田工場周辺地域の良好な環境の保全に努める。
  - (1) 矢作川水系水質保全の為に排出水の適正処理と自主管理基準の維持・管理
  - (2) 地域住民の快適な生活を守る為の騒音の防止
  - (3) 燃焼排ガス発生設備の維持管理による大気汚染防止
  - (4) 豊田工場敷地内の緑化推進
3. 資源枯渇・地球温暖化に対応する為、省資源・省エネルギーに努める。
  - (1) 生産設備改善・節電活動によるエネルギー消費量の削減
  - (2) 生産工程での排出物減量と再資源化の推進による廃棄物低減
  - (3) 仕入先への環境負荷低減の展開
  - (4) 部品設計・設備設計段階での環境への配慮
4. 消費資材の環境影響評価を行い、有害物質使用の防止に努める。

【豊田工場】



## トリニティ工業株式会社 三好工場環境方針

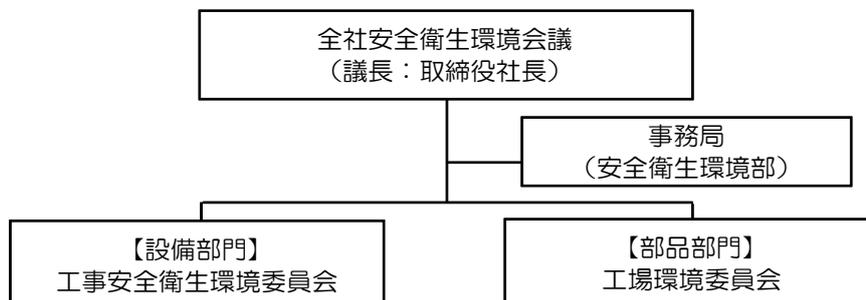
当地において、自動車部品の製造を行なうにあたり、従業員一人ひとりの自覚と責任において環境汚染を防止し、関係仕入先とも連携を取りながら、環境保全への継続的改善に取り組む。

1. 国・愛知県・みよし市の法令・条例を遵守する。
2. 三好工場周辺地域の良好な環境の保全に努める。
  - (1) 地域住民の快適な生活を守る為の悪臭の防止
  - (2) 燃焼排ガス発生設備の維持管理による大気汚染防止
  - (3) 三好工場敷地内の緑化・美化推進
3. 資源枯渇・地球温暖化に対応する為、省資源・省エネルギーに努める。
  - (1) 生産設備改善・節電活動によるエネルギー消費量の削減
  - (2) 生産工程での排出物減量と再資源化の推進による廃棄物低減
4. 消費資材の環境影響評価を行い、有害物質使用の防止に努める。

【三好工場】



# 環境組織



# 環境に配慮した製品の紹介

## 製品の紹介

塗装から排出する環境負荷物の大幅な低減に力を発揮する塗装機器製品を幅広く開発・設計・生産しています。  
これらの製品は、特に省エネ、省資源、クリーン化を技術的目標として開発されており、塗装プラントの環境改善に大きく寄与しています。

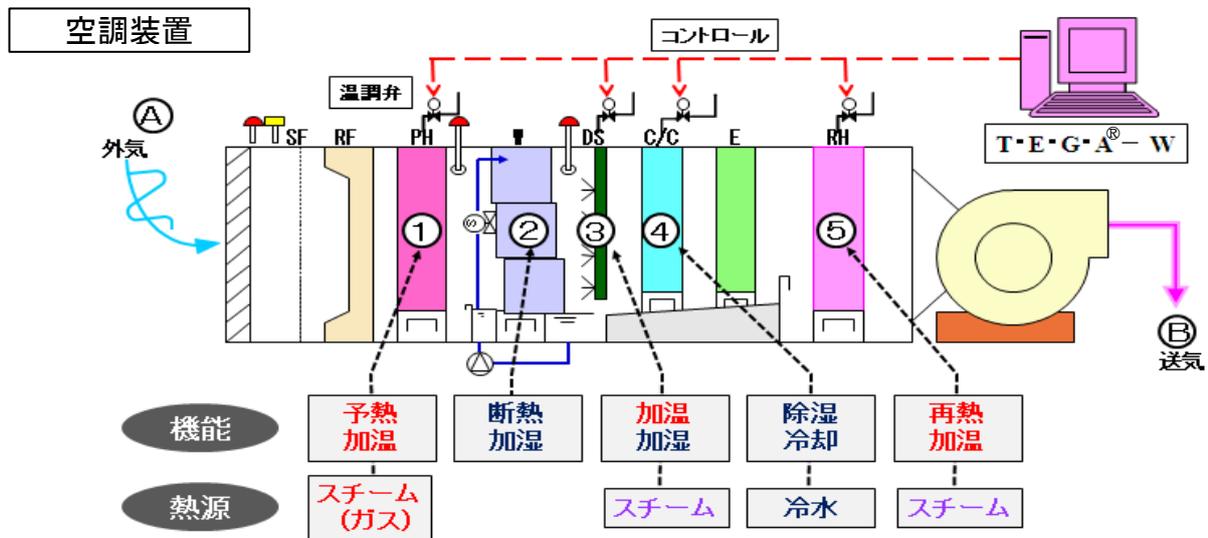


スライドベル



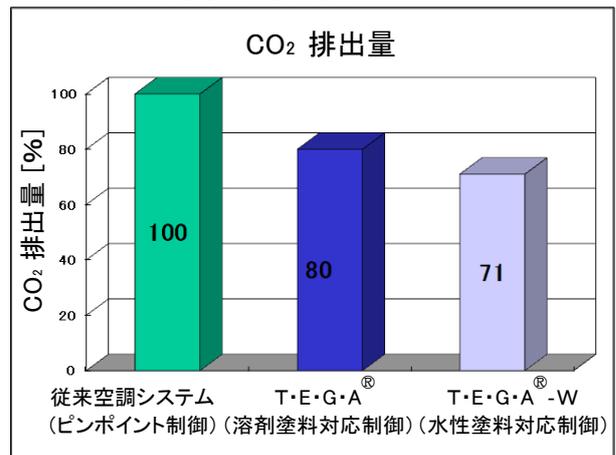
移載装置

## ブース空調システム 省エネ温調制御の紹介



今までピンポイント制御で温調コントロールを行っていましたが、外気の変動（朝・昼中・夜）に対して最小エネルギーとなる様制御する新空調制御システムT・E・G・A<sup>®</sup>の導入により20%のCO<sub>2</sub>低減が可能となりました。さらに水性塗料対応システムT・E・G・A<sup>®</sup>-W（水性対応）の導入により、クーリングコイル(C/C)及びダイレクト・スチーム(DS)の使用量が低減され、9%のCO<sub>2</sub>低減の効果が期待されます。

CO<sub>2</sub>低減効果(概算効果)



※ 外気条件、送気条件により効果は異なります。

# 環境取り組み

## □ トリニティ全社の環境負荷低減活動

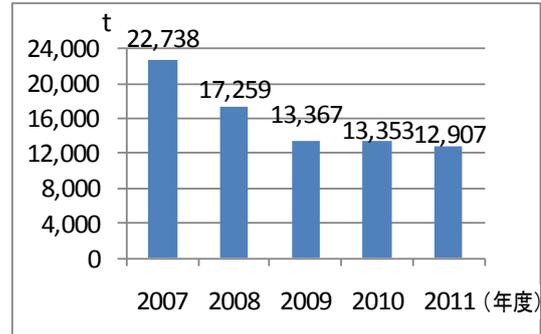
### ・ 地球温暖化防止

#### ① CO<sub>2</sub>排出量低減

地球温暖化問題が深刻化する中で、CO<sub>2</sub>排出量の低減が重要課題と認識し、全社的に取り組んでいます。

生産現場でのラインの寄せ止めやタクトアップ、非稼働時のエネルギーロス低減、また事務所内ではパソコンの待機電力の低減、こまめな消灯、エアコンの制限等を実施しました。

CO<sub>2</sub>排出量



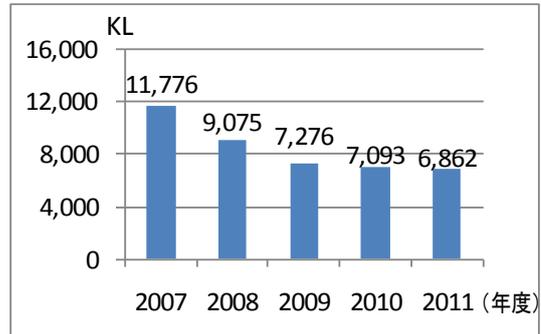
※環境省指定の実排出係数より

#### ② エネルギー使用量の低減

省エネ法の改正に伴い、エネルギー使用量の低減を全社的に推進してきました。

各事業所で省エネ活動を実施し、エネルギー管理を実施しています。

原油換算値

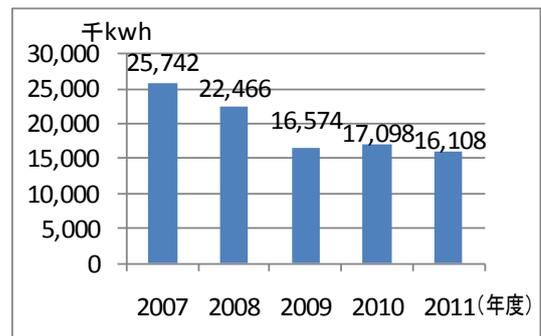


#### ③ 節電活動

東日本大震災における東北・関東地方の節電に加え、浜岡原子力発電所の運転停止に伴い、当社としても電気使用を見直し、節電活動を実施しました。

キャッチフレーズ 「**全員参加のSE活動**」  
各事業所より、節電アイデアを募集し、全員参加で節電活動を実施しました。

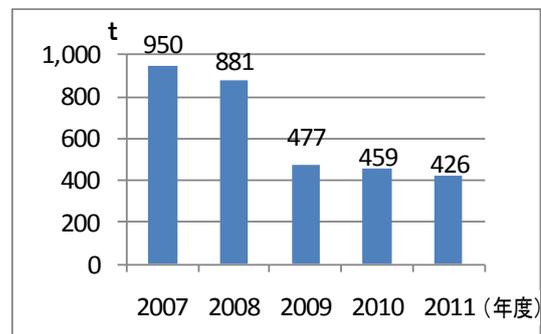
電気使用量



### ・ 循環型社会への取り組み（廃棄物低減）

産業廃棄物処分場のひっ迫、処分場周辺の環境汚染等の問題に対応する為、リサイクル化の推進や不良品の低減に努め、事業所から排出する廃棄物の低減に取り組んでいます。

廃棄物排出量



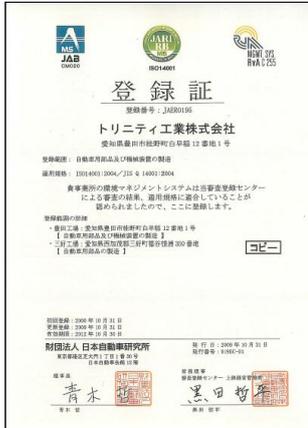
# 環境取り組み

## □環境マネジメントシステム

### ・工場ISO14001取得状況

2000年10月31日に豊田工場でISO14001の認証を取得しました。

その後、2008年に三好工場も取得しました。



### ・全社安全衛生環境会議

月に1回、社長をはじめ、役員、各部長が出席し、安全・衛生・環境についての会議を開催し、情報の共有化と問題解決に取り組んでいます。また、産廃マニフェスト発行状態や処分業者の現地確認の実施状況を報告し、法令違反等の未然防止に努めています。



## □環境コミュニケーション

### ・豊田市「環境の保全を推進する協定」

豊田市と「公害防止協定」を昭和60年に締結し、公害防止に努めてきました。近年の環境問題に対して、事業者と市との共働による持続可能な社会の構築に取り組む為、「環境の保全を推進する協定」に改称し、平成21年12月に新協定を締結しました。

また、平成23年6月には、「環境の保全を推進する協定に係る細目書」の締結をしました。



境界値における環境測定の様相

### ・「トヨタ地球環境月間」への参画

当社も活動に賛同し、職場での省エネ活動を実施しました。節電アイデアの募集やエコ宣言の寄せ書きを全社員で実施し、環境意識の高揚を図りました。

### ・豊田工場 節電活動について



8月13日の中日新聞に当社豊田工場の節電活動について掲載されました。事務所内の節電活動として、ビニールカーテンの設置による、事務所の寄せ止めを実施。稼働エアコンを半分に減らす事ができました。

### ・豊田市「ライトダウン活動」への参画

豊田市のライトダウン活動

『昼も。夜も。節電ライトダウン2011』

当社も活動に参加し、6月22日の夏至の日と7月7日の七夕の日に13時から15時に unnecessary 照明の消灯と定時退社の推進を実施しました。

## 地域活動

### □地域懇談会

#### ・豊田工場 近隣地区役員との交流会

9月に豊田工場にて、近隣4地区（豊田市桂野町、中垣内町、岡崎市宮石町、奥殿町）の役員の方々と懇談会を開催し、意見交換を行いました。懇談会では、豊田工場の概要、環境活動の取り組みを説明し、その後、工場見学を実施しました。



#### ・三好工場 愛知大学訪問、福谷区長訪問

7月と2月に三好工場に隣接している愛知大学、また7月に地元の福谷区長を訪問し、工場の環境方針の説明や環境測定の結果、環境活動の取り組みについて説明しました。地域住民からの苦情等がないか、定期的に意見交換会を実施しています。

### □環境美化活動

#### ・豊田工場花いっぱい活動

2011年6月に実施しました。



#### ・環境美化の実施

地域の環境美化活動に合わせ、年に2回（6月、9月）、工場周辺の草刈りを実施しています。





URL : <http://www.trinityind.co.jp>

トリニティ工業株式会社  
本社 〒471-0855 愛知県豊田市柿本町1-9  
TEL : 0565-24-4800  
FAX : 0565-24-4825

お問い合わせ先  
安全衛生環境部 安全環境室  
TEL : 0565-24-4818  
FAX : 0565-24-4822